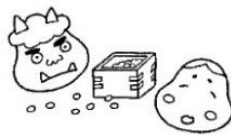


2月 給食だより



新座市立第二中学校
校長 小関 直
栄養教諭 加藤耕平

春が待ち遠しい2月です。毎年大寒を過ぎたころから12月よりも日照時間が延びていることを実感しますが、同時に寒さが一段と強くなったように感じます。節分を祝い、少しずつ春の訪れを感じていきましょう。

豆まきと恵方巻

みなさまは子供のころ自分で豆まきをした記憶がありますでしょうか。私は実家の玄関が引き戸だったので、「鬼は外、鬼は外」と言った後、すぐにピシャッと扉を閉めたのを今でもよく覚えています。最近は豆まきをしないご家庭が多いといわれておりますが、それでも節分の翌日に通勤する際、道端でいり大豆を見かけることがあり、その時はなんだか嬉しい気持ちになります。今年は日曜日ですので見つけられる可能性が高いと期待しています。

豆まきは小さいころからの思い出がある一方、恵方巻に

【豆をまく理由】



悪魔のような鬼の目「魔目(まめ)」をめがけて豆をまくと、悪魔を滅する「魔滅(まめつ)」と考えられていたからだそうです。

【豆は年の数】



炒った大豆を年の数だけ食べると、その年は病気をせずに過ごせるといわれています。

【恵方巻】

太巻きずしを恵方(縁起の良い方角)に向かって願い事をしながら無言で丸かじりをします。巻きずしには「福を呼び込む」、丸ごと食べるには「縁を切らない」という願いが込められています。



についてはありません。今では全国的に知名度がありますが、私は大学生になって初めて知りました。当時はこの地方独特の食文化なのかと思ったくらい馴染みのないものでした。友人が毎年食べていると言っていたので私も食べようかと思いましたが、一人下宿暮らしの自分には高価な食べ物で、スーパーの売り場で手を伸ばすことはありませんでした。

それから社会人となり、恵方巻が関東でも認知されるようになってきた頃、今度は恵方巻の**食品ロス**がニュースで取り上げられるようになりました。近年、節分の翌日に消費期限切れとなった恵方巻が大量に廃棄されているというものです。この話を聞いて以来、私の中で恵方巻のイメージは「翌日に大量廃棄されるもの」となってしまいました。本来はハレの日の食べ物であるのに残念です。大学生のころ、純粋な気持ちで食べておけば良かったと思いました。

みなさまのご家庭で恵方巻は食べますか？私はここ数年、毎年食べています。普段夜のスーパーに行く習慣はありませんが、この日ばかりは足を運び、値引きシールが貼られた恵方巻を何本か買って帰ります。少しでも廃棄されるものが減ることを願っての行動です。第二中学校の生徒には身近なことから社会課題を発見し、自分にできることを実行できるような人になってほしいと考えています。その意味で恵方巻はとてもよい題材ですので、ご家庭でも話題に取り上げてみてください。

食育とSDGs

～食育ピクトグラム～

2 朝ごはんを
食べよう



寒くてもきちんと起きて、
朝ごはんを食べよう♪